

奉納剣道大会「来年こそ開催を」

南砺・越中一宮高瀬神社

願い込め、形を奉納

南砺市の越中一宮高瀬神社奉納剣道大会の奉告祭が20日、同神社で営まれ、井波中2年の剣道部員が日本剣道形を奉納した。新型コロナウイルスの影響で小中高生が参加する試合は2年連続中止となり、関係者は第60回の記念大会となる2022年の開催を願いながら、中学生の演武を見守った。

コロナで2年連続中止

大会は1963(昭和38)年を特設会場に行われてお年から毎年秋に同神社境内(南砺、砺波、小矢部の



形を披露する遠藤さん(左)と辻村さん
—南砺市の越中一宮高瀬神社

3市から小中高生約200人が参加する。靴を履き、屋外で競う「野試合」形式で実施する全国でも珍しい大会として知られる。

昨年に続き、今年も神事のみが行われた。日本剣道形の奉納では、打太刀・遠藤康伸さん(14)と仕太刀・

辻村陽貴さん(14)が、無駄な動きのない剣道の姿を披露した。小学5年生から大

会に参加してきた2人は「息を合わせ、切れのある動きを見せることができた。境内で試合をするのは段差で転びそうになることもあって大変だが、来年こそ出場したい」と声をそろえた。

奉納に先立ち、藤井秀嗣宮司が祝詞を奏上し、巫女が「剣の舞」を披露した。同神社の石岡敬夫責任役員、砺波剣友会の牧本雄一会長、中橋文夫理事らが玉ぐしをささげた。

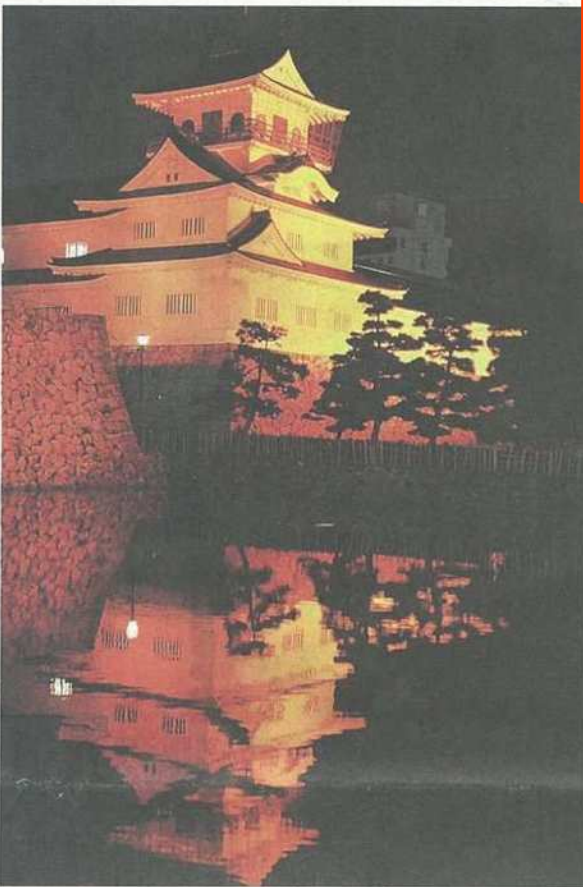
21日の世界アルツハイマーデーに合わせて、富山市本丸の富山城址公園で20日、ライトアップが行われ、富山城が認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色に照らし出された。

ライトアップは21日午後、日没から午後10時に実施される。

富山城は21、27日をアルツハイマーデー記念キャンペーンの強化週間とし、期間中日没後に県庁前公園を同じくオレンジ色の光で照らす。街頭での啓発活動は新型コロナウイルス感染防止のため取りやめた。

富山城ライトアップ 富山県は21、27日をアルツハイマーデー記念キャンペーンの強化週間とし、期間中日没後に県庁前公園を同じくオレンジ色の光で照らす。街頭での啓発活動は新型コロナウイルス感染防止のため取りやめた。

オレンジ色に輝く富山城
—富山市本丸



認知症啓発 オレンジ色に

富山・下堀町内会 歴史文化まとめる

「あゆみ」発行

富山市下堀町内会は、町の歴史や文化についてまとめた冊子「さらなる発展を富山市下堀のあゆみ」を写真集を発行した。

地域の歴史を後世に伝えるため、加藤三雄町内会長が中心となって2018年から取り組んだ。A4判84ページ、下堀地区の成り立ちや町内会の歴史、活動などを写真を交えて紹介している。

700部を発行し、住民や小学校、近隣自治会、県立図書館などに配布した。

黒東地区部会が交通安全を宣言

入善署

入善署管内の81事業所で行われる黒東地区安全運転管理本部会の交通安全宣言式は、同署で行われ、部長らが飲酒運転や交通事故の防止を誓った。

井上数也署長、深松隆黒東交通安全協会会長を前に、部長に新任された竹林悟朝日衛生社代表、新規加入事業者の高松真一高松葬祭代表が宣言した。

富山出身の3人セミナーで報告

JICA北陸

国際協力機構北陸センター

金沢市

河口 鈴子さん(かわくち・すずこ) 17日死去、97歳。富山県木町2の17日、長男和雄(かずお)さん。

廣田 多賀子さん(ひろた・たかこ) 19日死去、93歳。富山県新町21日午後7時、22日午前11時、大桑1のピースフル屋清園妹北見多美子(きたみ・たみこ)さん。

供田 千鶴子さん(ともだ・ちづこ) 20日死去、90歳。富山県3の15日午後7時、22日正午、泉が丘1のサンレー泉が丘紫雲閣次女落合千佳子(おちあい・ちかこ)さん。

中川 智子さん(なかがわ・ともこ) 20日死去、88歳。富山県12の41日午後6時、22日午前9時半、鳴和台のオクスセレモニールホール金沢長男喜文(よしふみ)さん。

荒木 郁雄さん(あらかぎ・いくお) 18日死去、87歳。富山県3の6の35日午後7時、22日午前11時、泉が丘1のサンレー泉が丘紫雲閣長男享(とくる)さん。

前田 昭夫さん(まえだ・あきお) 18日死去、87歳。富山県前夜式は21日午後7時、告別式は22日午前11時、柳橋町のサンレー柳橋紫雲閣長男泰志(やすし)さん。

今井 守さん(いまい・まもる) 19日死去、85歳。富山県北郷町390の21日午後7時、22日午前10時、松島1のベルセレマシティホール玉泉院院長男洋和(ひろかず)さん。

宮本 幸子さん(みやもと・さちこ) 19日死去、84歳。富山県大町1の17日、長男清仁(きよひと)さん。

惣島 忠雄さん(そうじま・ただお) 20日死去、82歳。富山県3の277日午後7時、22日午後1時、古府1のサンレー古府紫

敬老の日 健康願い贈り物

児童が手紙

高岡・成美町



町

高岡市成美町2丁目児童会は敬老の日の20日、地域の

のお年寄りに手紙とプレゼントを贈り、日ごろの感謝の気持ちを伝えた。

成美小児童7人が、老人会「大成会」のお年寄りの

家12軒を回り、「おめでとう」「長生きしてください」と伝えながら手紙と菓子を手渡した。大成会の磯部城峰会長が同行した。

5年の石瀬日我君は「ずっと長生きしてほしい」という気持ちを込めて手紙を書いた」と話した。



常本さん(左)に表彰状などを手渡す参加者
—南砺市祖谷

常本さんは毎日4千〜5千歩ほど近所を散歩し、田で農作業をするなど元気に体を動かして

最高賞に南、長田さんの作品

小矢部、環境ホスター

小矢部市と市環境保健衛生協議会が公募した環境ホスター作品の審査は、市役

所で行われ、最高賞の市長賞に南千尋さん(石動小6年)と長田夏実さん(磐谷小1年)の作品が選ばれた。南さんは3年連続の受賞となった。

今年度は「食品ロス対策」「環境美化」「美しい富山の保全」など8つの画題に小学生114点、中学生169点の応募があった。市長賞以外の入賞者は次の皆さん。

- ▽会長賞 渡部桃(石動小5) 渡邊優衣(石動中3) 渡邊良貴(豊後小5) 渡邊山崎(磐谷小5)
- ▽特別賞 林彩佳(磐谷小6) 細川あかり(津沢小6) 石上智希(同) 島若菜(大谷中1) 吉田優(津沢中2) 荒永桃子(磐谷中2) 長太佑樹(同) 清原悠(石動中3)